

第1回頓原デイサービスセンター運営推進会議会議録

開催日	平成28年7月22日(金)	開催時間	14:00～15:00	記録	光田 真也
参加者	K様(地域包括支援センター)、I様(公民館職員)、I様(地域住民代表) O様(家族代表)、A様(家族代表) 吉田(所長)、光田(事務次長)、倉橋(生活相談員)				
議題	1、運営推進会議規則について 2、頓原デイサービスセンター活動報告 3、意見交換				
会議内容	<p>1、運営推進会議規則について</p> <p>(趣旨) 介護保険法及び関係省令に基づき設置する社会福祉法人友愛会 頓原デイサービスセンター運営推進会議について必要な事項を定めるものとする。</p> <p>(組織) 利用者の家族2名、地域住民代表者1名、飯南町地域包括支援センターの職員1名 地域密着型通所介護について知見を有する者1名、その他事業所の代表者が必要と認める者。</p> <p>(任期) 会議構成員の任期は2年とし、再任を妨げない。</p> <p>(会議) 6ヶ月に1回以上開催する。</p> <p>(会議の議題) 事業所における活動状況の報告 運営推進会議による評価 運営推進会議からの必要な要望及び助言等 事業所の代表者が必要と認める事項</p> <p>2、頓原デイサービスセンター活動報告 別紙 運営推進会議資料にて報告</p> <p>3、意見交換</p> <p>Q1 利用者に対しての満足感調査のアンケートを取ってみては。 A1 今後、アンケートを検討します。</p> <p>Q2 地域密着型通所介護に変わり、利用者にはどのように変わったか。 A2 管轄が県から広域に変わり、現状行っているが、より地域のニーズにあったサービスを事業所として行う。</p> <p>Q3 定員18名に対して月平均15名の利用はなぜか A3 入院や他サービス(短期入所など)の利用があるので</p> <p>Q4 近くの方でデイに行かれた方が良いと思う人がいるが、本人はまだ行かないと言われる。 A4 食費だけで利用できるお試しデイがあります。1度来ると皆さん続けて来てもらえます。</p> <p>Q5 施設は建ててから何年になるか、建替が必要では。病院のとなりが良いのでは。 A5 32年になるので建替が必要です。地域の皆様宜しくお願いします。</p> <p>意見として ・デイサービスの職員の対応が良い。若い職員が多く活気がある。 ・喜んでデイサービスに通っている。 ・記録にリハビリが書いてあると安心する。 ・記録に排泄の欄があるといい。</p> <p>事業所から ・配食サービスについてアンケートを取り、数名の方から希望があったので、配食サービスを行う予定にしている。</p>				
次回開催予定	平成29年3月				

平成28年度第1回

運営推進会議資料

頓原デイサービスセンター



理念 「人権尊重」

利用者一人一人の人権を尊重し、人生の先輩としてうやまいましょう。

「信頼を得て」

利用者はもちろん、職員・上司・地域の方々から信頼してもらえる人になりましょう。

「協働で奉仕」

一人でできることには限りがあります。どの職種も協力し合い、利用者のためにより良いケアを行いましょう。
福祉法人の基本は、奉仕の精神です。利用者をはじめ、地域全体に「つくす」気持ちを忘れないようにしましょう。

求める職員とは

- 1、礼儀正しく、清潔感があり、挨拶がきちんとできる。
- 2、「もっと良い方法がないか」と、いつも向上心がある。
- 3、「これでいいのか」と常に考えながら行動できる。
- 4、気づく目を持ち仕事を行う。
- 5、常に明るく、利用者や職員等とコミュニケーションが図れる。
- 6、自分の立場を理解し、組織の中での役割が果たせる。

頓原デイサービスセンター



利用者には楽しく、家族には信頼される場所を目指します！

自宅での生活をより長く、より豊かにできるように機能の維持、回復だけでなく生活の充実、楽しみを持つ、そしてご家族様の介護の軽減を目的としています。

ご利用対象者

- ・要介護認定を受けた方で要支援以上の方

1日利用定員

- ・18名(通所介護・介護予防)

サービス提供日

- ・月曜日～土曜日(1/1、1/2を除く)

サービス提供時間

- ・9:00～16:10
(時間延長夕方のみ 最大2時間)

通常の実施区域

- ・飯南町、雲南市掛合波多

相談窓口

- ・受付時間 9:00～15:30
担当 倉橋 直之
湯立 知美

利用料金

介護予防通所介護

(要支援1 月4回 要支援2 月8回の利用の場合)

(1ヶ月あたり)

	負担金	食事代	合計
要支援1	2,022円	2,200円	4,222円
要支援2	3,896円	4,400円	8,296円

※上記金額は1割負担対象の方です。

※食事は1食550円、時間延長なし。

地域密着型通所介護

(1日あたり)

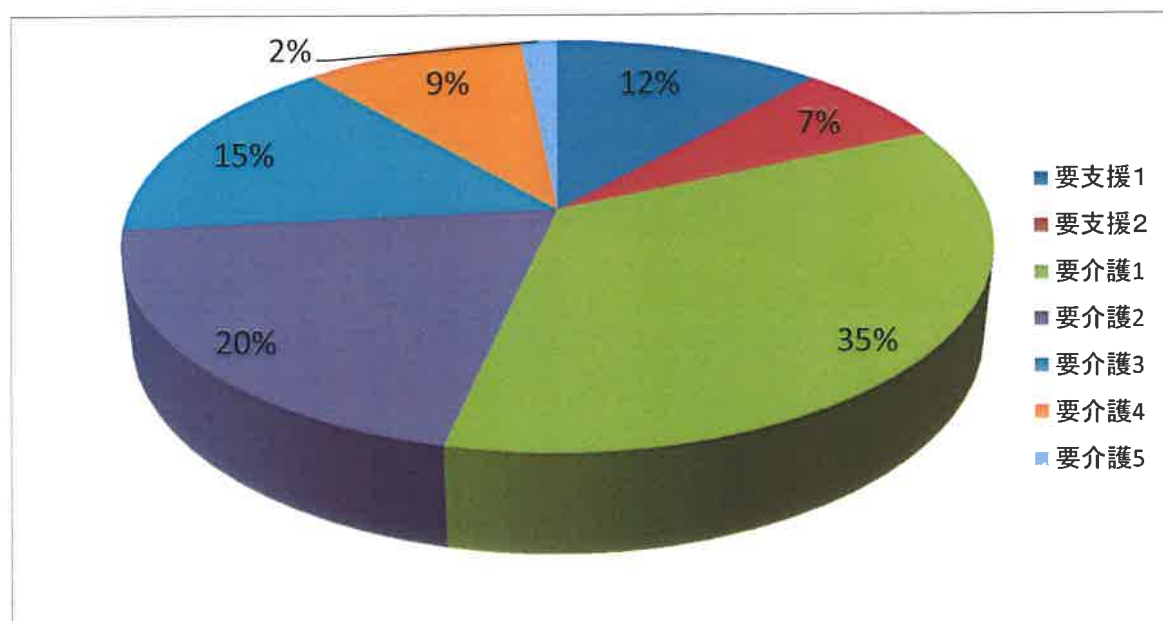
	負担金	食事代	合計
要介護1	893円	550円	1,443円
要介護2	1,032円	550円	1,582円
要介護3	1,175円	550円	1,725円
要介護4	1,319円	550円	1,869円
要介護5	1,461円	550円	2,011円

サービス提供体制加算 18単位 入浴介助加算 50単位 個別機能訓練加算 56単位 介護職員処遇改善加算 I (加算率4%)を含めています。

※上記金額は1割負担対象の方です。

※時間延長1時間あたり750円実費(最大2時間夕方のみ可能)

利用状況 (4月～6月) 契約者数 68名 平均介護度 1.8 平均年齢 87.7



	利用延べ人数	営業日数	1日の利用人数	利用率
4月	395	26	15.19	84%
5月	391	26	15.04	84%
6月	391	26	15.04	84%

サービス内容

送迎

送迎車両にて職員がお迎えに伺い、安全、快適に送迎致します。車椅子の方も安心してご利用頂けます。



食事

地域性や季節感のある献立で、それぞれの方の状態に応じたきめ細かな食事の対応をしています。治療食はもちろん、おいしく食事ができるよう口腔機能の維持にも取り組んでいます。



入浴

一般浴槽、機械浴槽(併設事業所)がありますので、身体状況に応じて選択して頂けます。



・リハビリ

理学療法士による個別機能訓練(リハビリ)を行っています。在宅生活の維持、向上を目指し、利用者様一人一人のニーズを踏まえた目標を立て、リハビリを行っています。

在宅生活を送る上で、日常生活動作(移動、起居動作、排泄、食事などの動作)、生活関連動作(家事金銭管理、服薬管理など)は大事となります。しかし、それを行うためには、相応の身体機能(筋力、関節可動域、バランス能力)が必要となります。動作の維持、向上を図りながら身体機能の維持、向上するようにしています。また、関節の痛みなど生活動作を阻害する因子への対応もさせていただいています。

利用者様一人一人の状態や能力に応じて、個別だけでなく集団(5人未満)のリハビリを行っています。



・レクリエーション

午前には利用者様の希望を聞いて、パズルやカラオケ等の活動をしています。午後は、毎月計画を立て、身体や脳を活性化させるゲームやドライブ、ボランティアの方を招いてのイベントを行い、利用者様が楽しく過ごしていただけるようにしています。



レクメニュー

カラオケ、パズル、塗り絵
輪投げ、カルタ、双六
オセロ、折り紙、作品作り
など



平成27年度リスクマネジメント状況

種類	事故報告	ヒヤリハット報告	合計	
転倒	1	8	9	52.9%
転落		1	1	5.9%
誤嚥		2	2	11.8%
溺れる		1	1	5.9%
表皮剥離 皮下出血	3		3	17.6%
その他	1		1	5.9%
合計	5	12	17	

報告内容によると、事故が29%となっているが、まだ事故とヒヤリハットの区別が曖昧である。

種類については、転倒が52.9%と半数を占めている。どんな方でも転倒は起こりうるといった予防、防止策が必要である。

今後に向けて、利用者の方の安全性と満足度が得られるサービスを提供できるよう職員が常日頃より情報共有し、業務改善意識を強く持てる専門職となれるよう努力していく。

苦情相談

苦情相談者 利用者本人

苦情相談内容

茶話会の時間にテーブルに同席した人も少なく離れたテーブルでは他の利用者や職員が楽しそうに話をしている自分は楽しなかった。

経過

レクがずれ込み、茶話会準備やトイレに行かれる人の介助で人手が不足していた。勤務していた職員で苦情に対して経過を説明し、内容について話し合いを行う。

対処・指示

全利用者を平等と考え対応していかないといけないので本人の想いをすべて聞いていくことは難しい。席の希望があればその都度、声掛けが必要。

当時の状況を電話連絡にて本人に謝罪する。

職員体制

管理者1名
生活相談員2名(うち1名兼務職員)
介護職員6名(うち1名兼務職員)(うち介護福祉士資格者3名)
看護職員2名
理学療法士1名
その他の職員

職員研修の開催及び参加状況

施設内研修

月日	内容	職種
4月26日	事故防止研修	介護職員、看護職員、理学療法士
5月25日	避難訓練	介護職員、看護職員、理学療法士
5月30日	褥瘡予防研修	介護職員、看護職員、理学療法士
6月15日	感染対策研修	介護職員、看護職員、理学療法士

介護職員初任者研修

月日	内容	職種
5月18日	開講式	介護職員
5月26日	介護職務の理解	介護職員
6月2日	自立に向けた介護	介護職員
6月9日	介護の基本	介護職員
6月16日	医療との連携とリハビリテーション	介護職員
6月23日	認知症の理解	介護職員
6月30日	人権と尊厳を支える介護	介護職員

行事実施状況

月日	行事名	内容
4月8日、9日 11日	花見ドライブ	八神方面にドライブし、デイサービスで茶話会を行う。
4月23日	おやつ作り	桜餅を作る。
4月30日	ドライブ	三瓶に到着後、茶話会を行う。
5月12日	ボタン見学	赤名のボタン園に見学に行く。
5月23日	おやつ作り	飯南高校の生徒とホットケーキを作る。
5月25日	避難訓練	日中想定 of 避難訓練を行う。
6月9日	ポピー見学	志津見にポピー見学に行く。
6月22日	ドライブ・喫茶	ラムネミルク堂で喫茶